

【 写 真 】



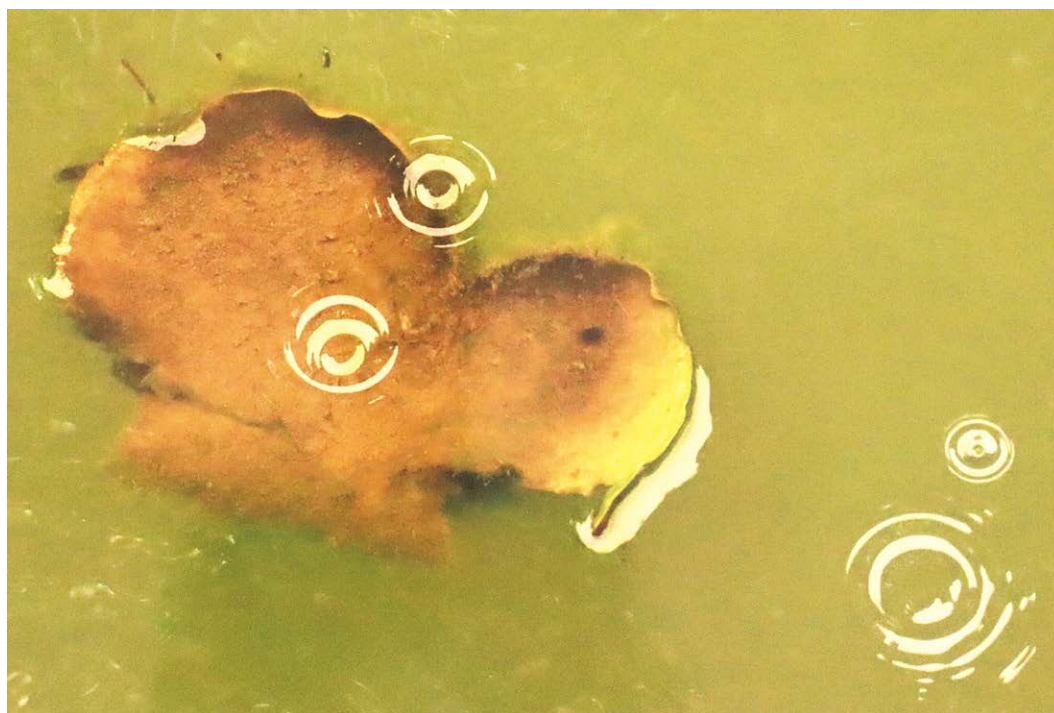
一席

祇園祭がやって来た
福井康之



二席

誘う海
戸川敦子



三席

めまいの枯葉
川合恒市



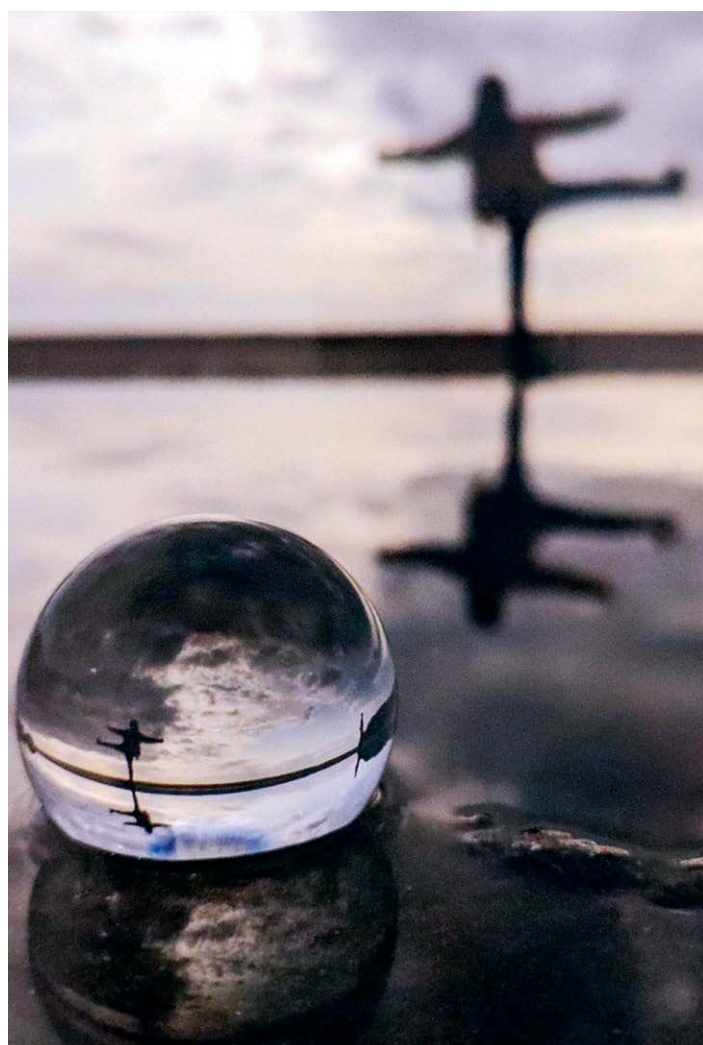
回転焼肉一升びん賞

ひだまりの午後
海住恒幸



岡田文化財団賞

麦に囲まれ
中川里菜



まつさか未来賞

友に魅せられて
松田朋子

【 写 真 】

〔 賞 〕	〔 題 名 〕	〔 名 前 〕	〔 住 所 〕
一 席	祇園祭がやって来た	福井康之	松阪市南虹が丘町
二 席	誘う海	戸川敦子	松阪市川井町
三 席	めまいの枯葉	川合恒市	多気町五桂
回転焼肉一升びん賞	ひだまりの午後	海住恒幸	松阪市西町
岡田文化財団賞	麦に囲まれ	中川里菜	松阪市魚見町
まつさか未来賞	友に魅せられて	松田朋子	松阪市中ノ庄町
奨励賞	思い出のプール	長谷香里	松阪市御殿山町
奨励賞	光の中で	石川輝夫	松阪市伊勢寺町
奨励賞	アイ ラブ ユー	片岡喜久夫	松阪市小片野町
奨励賞	港界限	西村則明	大台町栗生
奨励賞	愛をそそぐ	大原行輝	松阪市下村町
奨励賞	少年達との別れ	海住幸松	松阪市嬉野中川町
入 選	街角のミステリー	奥山育世	松阪市新町
入 選	きざし	鈴木 昇	大台町高奈
入 選	急ぎ足	鈴木聡子	大台町高奈
入 選	野生の鼓動	西岡ひとみ	松阪市垣鼻町
入 選	にわか雨	金谷 清	多気町朝柄
入 選	ヒマラヤの朝陽を蹴る	末永 薫	松阪市湊町
入 選	祭りの日	松本 実	松阪市山添町
入 選	桜の咲く頃	堀端 脩	松阪市笹川町
入 選	漂着無情	松本 修	松阪市泉町
入 選	タブレットに夢中	松田輝子	松阪市船江町
入 選	鈴の森水鏡	寺田純子	松阪市中町
入 選	夜明けの松島	竹本博志	松阪市駅部田町
入 選	秋風	黒石真理子	松阪市虹が丘町
入 選	LOST	大川倍未	松阪市清生町
入 選	晩夏	廣瀬千名美	多気町東池上
入 選	飛竜乗雲	中西達明	松阪市大黒田町
入 選	おもいでで夏	南 東一	松阪市市場庄町
入 選	錆びた聖人の群像	古野 薫	松阪市川井町
入 選	華麗に咲く	中西登代子	松阪市市場庄町
入 選	アートな花火	村木潤子	松阪市豊原町
入 選	蜘蛛の糸	北畠ひとみ	多気町土屋
入 選	秋景	山口淳子	松阪市高町
入 選	おねだり	伊藤千可	松阪市五反田町3丁目
入 選	可愛いポニーだね。こわいよ	宮崎政明	松阪市久保町
入 選	キリンさん高いね同じ目線よ	宮崎秀翠	松阪市久保町
入 選	富士黎明	前田祥子	松阪市西町
入 選	命尽きて	岡村節子	松阪市立野町

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
入 選	「解体・夢の跡」	安達忠明	松阪市立田町
入 選	夕照波紋	森本泰治	多気町相可台
入 選	伊根の舟屋夜景	上田真衣	松阪市丹生寺町
入 選	青嵐	村田和人	松阪市五反田町五丁目
入 選	パパは大変	高岡 敏	松阪市虹が丘町
入 選	ドクターイエロー	三好徹哉	松阪市東黒部町
入 選	水辺の彩	達井孝子	多気町平谷
入 選	腐食アート	出口量造	松阪市朝日町一区
入 選	モリアオガエル産卵	湊 恵一郎	松阪市桜町
入 選	水玉レンズ	脇田猛志	多気町相可台
入 選	求愛	出口美智子	明和町上野
入 選	シンプル	前川悦雄	松阪市上川町
入 選	孫・愛しききみ	田中清孝	松阪市駅部田町
入 選	安居楽業	神戸一平	松阪市早馬瀬町
入 選	漁具の点検	高橋克己	松阪市曲町
入 選	JAZZが流れる	上田倫代	松阪市駅部田町
入 選	あの頃の思い出一枚	中川眞一	松阪市櫛田町
入 選	漁港の風影	加藤定美	松阪市嬉野中川町
入 選	船底が見える	笠野和彦	松阪市日丘町
入 選	夕陽に照らされて	重盛よし美	松阪市平生町
招 待	少女	野瀬みつ子	松阪市嬉野権現前町
招 待	静寂	溝田幸輝	松阪市東久保町
招 待	踵落とし	柴田ただしげ	松阪市高須町
招 待	AKICANプレスアート	梅川紀彦	松阪市新町
審査員	魚ハンター (ミサゴ)	山口政宣	桑名市長島町福吉
審査員	ファミリー	牛場和美	津市長岡町
審査員	海風	嶋岡恭司	松阪市中央町

(順 不 同)

● 審 査 評

本年度の応募点数は、昨年よりも減少したが、充実した内容の作品が多く出品された。

一席の「祇園祭がやって来た」は、古い屋敷を背景に神輿渡御を高い位置から俯瞰的に捉えた視点が新しい。

二席の「誘う海」は、3点の組み写真で、作者の海への思いがモノクロで上手く表現されている。

三席の「めまいの枯葉」は、枯葉の上にできた波紋が動物の顔のように見える瞬間を上手に捉えた作品である。

回転焼肉一升びん賞の「ひだまりの午後」は、ベンチで眠る人物を、光と影で浮き上がらせて表現した素晴らしいモノクロ作品である。

岡田文化財団賞の「麦に囲まれ」は、麦畑で遊ぶ無邪気な表情を望遠レンズで上手く捉えた作品である。

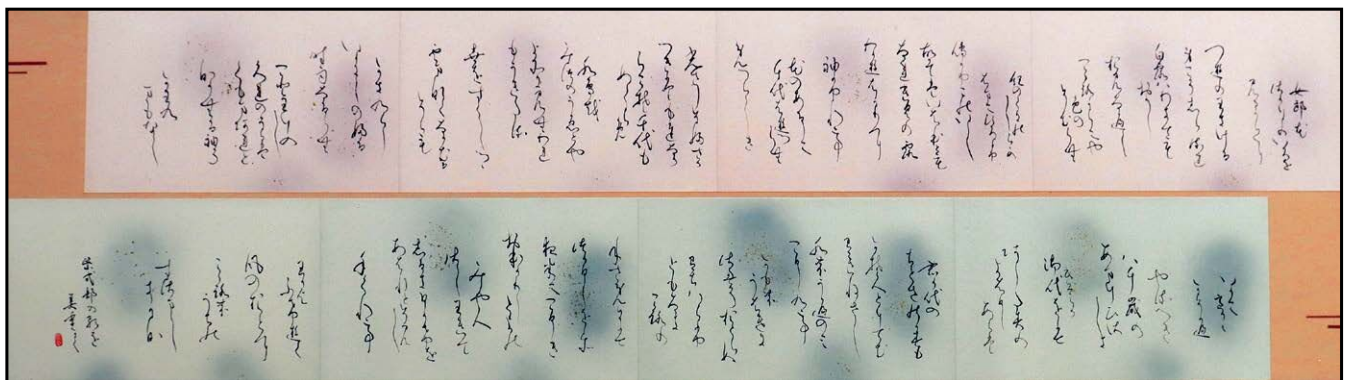
まつさか未来賞の「友に魅せられて」は、今回唯一の創作的な作品で若さを感じさせられた。

【 書 道 】

心遠ければ地も自づから偏なり菊を采る東籬の下悠
然として南山を見る山暈日夕に佳く飛鳥相与に還る
此の中に真意有り弁せんと欲して已に言を忘る
陶淵明の詩 鈴木広子

一席

陶淵明の詩
鈴木広子



二席

紫式部の歌
松井美季

金甕長城舊寒良可哀別時提劍救邊志
 遺比布衣金中鞬有雙白羽箭蜘蛛結
 網生塵埃船走不人今戰死波面

升善玉

松阪皇輝かぐや賞

李太白詩
 坂口幸穂

自卑遠境三三惋愕不純且未嘗問出悲至不可得還
 耳去誘靜媛儀靜排此後便常暇、必有情不自勝
 念汝等追推慟無綿斷能何可堪任有常業何當
 復來日遣涕不決殿隨侍中當書牒射幸

幸文

三席

王鐸(臨)
 中川はるみ

藥

高嶺の百合のそらよりも秘なる
夢の一筋に燃ゆるその姿
あざみに深き我思ひ華心美

まつさか未来賞

あざみの歌
稲葉心美

常々人に見えたる常先生一書并信物一ふ有諸送達我
白紙啓封書求法體安隱甚耐想念此後五年在垢
所蒙に此為信物矣不知林下高人指渡不惑耶未由會
見下之可重不宣我願有以書及下文就啓送若徑由後
見為幸送存遣人賜書河内 起居唯勝 明堂

岡田文化財団賞

蘇軾詩
杉岡房子

【 書 道 】

〔 賞 〕	〔 題 名 〕	〔 名 前 〕	〔 住 所 〕
一 席	陶淵明の詩	鈴木広子	松阪市大黒田町
二 席	紫式部の歌	松井美季	松阪市殿町
三 席	王鐸(臨)	中川はるみ	松阪市中央町
松阪皇輝かぐや賞	李太白詩	坂口幸穂	多気町丹生
岡田文化財団賞	蘇軾詩	杉岡房子	松阪市曾原町
まつさか未来賞	あざみの歌	稲葉心美	松阪市田牧町
奨励賞	三十六歌仙	宇野多恵子	松阪市高町
奨励賞	朝のリレー	仲井恵美	松阪市飯高町田引
奨励賞	李白詩	岩木すま子	松阪市高町
奨励賞	俞樾の詩	中川洋子	松阪市日丘町
奨励賞	李壁墓誌銘碑文	小山明子	松阪市下村町
入 選	琵琶湖周航の歌	高橋みどり	松阪市駅部田町
入 選	一筋の道	岡田知與子	松阪市桜町
入 選	杉谷代水の詞	北出直子	松阪市垣鼻町
入 選	温庭筠詩	福井幸恵	松阪市上川町
入 選	欧陽修詩	佐藤友香	松阪市久保町
入 選	李白詩	久保志帆	松阪市平成町
入 選	李白詩	鈴木千絵	松阪市茅原町
入 選	七言絶句	鈴木妙美	松阪市大垣内町
入 選	後撰和歌集	村井恒子	多気町土羽
入 選	百人一首	奥山明日風	多気町西山
入 選	小倉百人一首	宇野紫苑	松阪市虹が丘町
入 選	万葉集	川村憲子	松阪市東黒部町
入 選	万葉集	岡村秀子	松阪市日丘町
入 選	枕草子 一段	古市明美	松阪市藤之木町
入 選	傅山漢古詩帖	前川和美	松阪市高町
入 選	無門関	吉川あづさ	明和町浜田
入 選	柳惲詩	濱田陽子	松阪市大口町
入 選	允禧の詩	浅香晴美	松阪市高町
入 選	聴雨	清野明子	松阪市下村町
入 選	載暈の詩	北川享子	松阪市中道町
入 選	杜甫詩	川村和代	松阪市東黒部町
入 選	白楽天詩	野中典代	松阪市久保田町
入 選	法然上人のうた	山口加織	松阪市高町
入 選	張遷碑	北岡由巳子	松阪市嬉野黒田町
入 選	百花亭 晩望夜帰	福田桂子	松阪市嬉野中川町
入 選	禅語	中西 花	松阪市上ノ庄町
入 選	寸草春暉	竹本博志	松阪市駅部田町
入 選	節臨乙瑛碑	濱口弘之	松阪市中道町

[賞]	[題 名]	[名 前]	[住 所]
入 選	王粲詩	林 ひろ子	多気町西池上
入 選	白居易詩	山本幸代	松阪市飯南町深野
入 選	鮑照詩	北川真希	大台町佐原
入 選	曹全碑	島田幸美	松阪市鎌田町
入 選	臨龍門造像記	森井 暁	大台町上三瀬
入 選	臨趙孟頫	濱地乎音莉	松阪市駅部田町
入 選	赤壁賦	八重嶋朱梨	松阪市下村町
入 選	臨集字聖教序	吉川 葵	明和町斎宮
入 選	臨忽披帖	左手日香里	松阪市虹が丘町
入 選	臨黃庭堅跋	中田実伶	紀北町古里
入 選	臨龍門二十品	高倉光史	大台町新田
入 選	始平公造像記	出口友香	松阪市豊原町
招 待	新美南吉の詩	下平小波	松阪市下村町
招 待	松尾芭蕉の句	中村小汀	松阪市清生町
招 待	黄知橘柚来	佐久美泉涯	松阪市虹が丘町
招 待	(孟子の語)道在邇求諸遠	鬼頭翔雲	松阪市駅部田町
審査員	二字句(展敬)	工藤俊朴	松阪市嬉野黒田町
審査員	金冬心(臨)	中村翠雲	松阪市光町
審査員	齋藤茂吉のうた	菅生攝堂	亀山市みどり町

(順 不 同)

● 審 査 評

本年の出品数は減少したものの力作揃いの作品群で、優劣つけ難く、約2時間強の長時間公開審査となった。バラエティに富む上位5賞は漢字3点、漢字仮名交じり1点、かな1点となった。

書の鍛錬は古典が基盤。自分の書の趣を理解し、それに近い古典の選択を心掛けるのが書の第一歩。そして更なる高みを目指して頑張ってもらいたい。最後は気力の充実が勝負となると思う。